

## 1-5 四肢血圧脈波検査



### 四肢血圧脈波検査とは？

四肢血圧脈波検査では両腕・両足首の血圧を同時に測定することで、下肢の血管の詰まりや動脈硬化の程度を知ることができます。閉塞性動脈硬化症の診断や、糖尿病・高血圧・肥満などによる動脈硬化の指標として有用です。

### 検査の受け方

ベッドに寝ていただき、両上腕と両足首に血圧カフを装着します。場合によっては足首の他に、足の指に血圧カフを装着することがあります。

手首と足首には心電図電極シールを装着し、同時に心電図も記録します。

また、心音センサーを胸の上ののせて心臓の音を確認するので、検査中は声を出さないようにして下さい。

検査時間は 20～45 分です。

### 気をつけること

- ・ セーターなどの厚手の衣服を着ている場合、脱いでいただくことがあります。
- ・ 足首に血圧カフを巻くため、靴下、タイツ、ストッキング、股引は脱いでいただくことがあります。
- ・ 検査時、上腕と足首の血圧カフが同時に締め付けるため、人によっては痛みを感じる場合があります。痛みを感じた場合、すぐに技師にお知らせください。
- ・ 人工透析シャント、手術後、血糖測定器、ポート植込みなどで、血圧測定ができない部位がある場合は、検査前に検査技師にお知らせください。